

どんな検知器ならOK? NG? 記録は? メンテは?
間違った準備をしないための、がっつり2時間ウェビナー!

2022年4月1日

安全運転管理者の業務が 大きくかわる

白ナンバー アルコールチェック義務化対策セミナー 飲酒運転防止に関する道路交通法施行規則9条改正 3つの義務の解説と、包括的な対策について

<対象者> 企業経営者(使用者)、管理部長、安全運転管理者、衛生管理者、運航管理者、運行管理者、産業医

安全運転管理者は、

- I アルコール検知器を用いて酒気帯び確認をしなければならない
- II アルコールチェック実施の記録を1年間保存しなければならない
- III アルコール検知器の設備管理をしなければならない

10/13

(水)

10/15

(金)

開催時間：13:30～15:30

第1部
60分

白ナンバーアルコールチェック 義務化の背景と対策

道路交通法改正「3つの義務」。これ以外にも、マイカー通勤者対策等、労働安全衛生法観点も加えて、「ポーズだけではない体制」「形骸化しない体制」についてご説明します。

- ・千葉県飲酒運転事故と、日本の飲酒運転者年間2万人の関係
- ・緑ナンバートラックで飲酒運転が減らない理由
- ・白ナンバー職業別飲酒運転者から浮かび上がること
- ・使用者と安全運転管理者が絶対に理解しなければならない3つの義務化
- ・義務化に対応できるアルコール検知器の選び方
- ・500円のアルコールチェッカーと15万円のアルコール測定器の違い
- ・アルコールインターロックは、該当機器として認められるか?
- ・アルコール検知器義務化 鉄道、航空、トラック・バス・タクシーの事例
- ・アルコール検知器 導入ハンドブック
～ 何のための、アルコールチェックか?～
- ・社用車だけでいいのか? マイカー通勤者、電車通勤者はどうするのか?
- ・アルコール検知器 認定制度はあるのか? 技術規格について

■プレゼンター
プロフィール

飲酒運転防止インストラクターとして安全運転管理者向けの法定講習でアルコール教育講座を担当。専門分野はアルコールインターロック法令。ウェブメディア運輸安全ジャーナル主宰。(株)東海電子ホールディングス代表取締役 CEO。

第2部
60分

検知器だけでは防げない

～白ナンバー事業者が知るべきアルコール基礎知識～

- アルコール検知器だけでは、飲酒運転根絶は実現しません。重要なのは、教育です。静岡県の安全運転管理者協会による法定講習で7年間1万以上の事業者が受講した白ナンバー向けの飲酒講座をご紹介します。
- ・アルコールチェッカーがあれば安心、の大きな勘違い
- ・飲酒運転防止インストラクターとは?
- ・お酒にまつわる都市伝説を無くそう! クイズで学ぶ飲酒基礎知識
- ・アルコール濃度計算、アルコール耐性、体質に関する基礎知識
- ・プライベートでも何でもない! 飲酒習慣を正しく聞く方法
- ・身近に実はいませんか? 依存症と「酒飲み」の境目
- ・飲酒教材ご紹介
ジェルパッチ、飲酒ゴーグル、
ドライブシミュレータ等の使い方
- ・安全運転管理者と衛生管理者の重要な役割



杉本 哲也



「東海電子 セミナー」で検索いただくか、QRコードから参加登録をお願いいたします。

東海電子 セミナー

Q 検索



開催方法: ZOOMで行うオンライン形式
参加登録: 東海電子HPから登録可能です。
お問合せ: 東海電子株式会社
td-seminar@tokai-denshi.co.jp